

液晶プロジェクター（パワーポイント）を用いた口頭発表に係る注意事項

第 43 回年会での口頭発表は液晶プロジェクター（パワーポイント）での発表となります。OHP は使用できませんのでご注意ください。口頭発表される方には、以下の事項を遵守して戴きたくお願いいたします。

1. 発表者が用意するもの

発表者は、発表用ファイル(パワーポイント)を保存したメディア (USB メモリーまたは CD-ROM) をご用意下さい。なお、発表者ご自身のノートパソコンの使用を希望される場合は、ご自身のノートパソコンをご使用いただけますが、念のため発表用ファイルを保存した USB メモリーや CD-ROM を持参されることをお奨めいたします。

2. 会場で用意されているもの

会場には、液晶プロジェクター、モニター切替器（ノートパソコン接続用、4WAY）、ノートパソコン（パワーポイント 2003 インストール済）およびレーザーポインターが用意されています。

会場で準備するノートパソコンの OS は Windows XP です。(Windows Vista、アップル等を含む他 OS のノートパソコンは準備しません。)

会場にはケーブル端子を 4 本接続できるモニター切替器を設置します。ケーブル端子の 1 本 (No. 4) は会場用ノートパソコンに常時接続していますので、ご自身のノートパソコンを使用する場合は、残り 3 本のケーブル端子 (No. 1 ~ No. 3) の 1 つを使用します。

モニター切替器からのケーブル端子は図 1 に示すようになっていきますので、図 2 に示すノートパソコンのモニター端子に接続します。

アップル等の異種端子のパソコンを持ち込む方は、図 1 端子に対応したアダプター等を各自ご用意下さい。

発表会場と別に、試写室も準備しますのでご利用下さい。

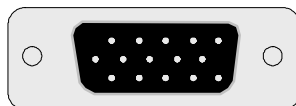


図1 モニター切替器からのケーブル端子, 15ピン, オスねじ(会場準備)

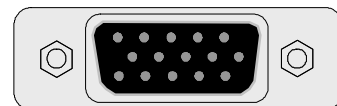


図2 対応するノートパソコン側のモニター端子, 15ピン, メスねじ

3. 発表前の準備

Windows パワーポイント 2003 以下のバージョンのファイルを USB、CD-ROM で持参される方
午前の発表者は 8 時 45 分までに、午後の発表者は午後のセッション開始 15 分前までに USB メモリー、または CD-ROM から発表会場に設置したノートパソコンに発表ファイルをコピーして下さい。

Windows パワーポイント 2007 で作成されたファイルを USB、CD-ROM で持参される方
ファイルを USB、CD-ROM に保存される際、“名前を付けて保存”にある“Power Point 97-2003 プレゼンテーション”のファイル形式を選んで下さい。なお、ファイル形式の変更に伴う不具合については、ご自身で予めご確認ください。午前の発表者は 8 時 30 分から 8 時 45 分までに、午後の発表者は午後のセッション開始 15 分前までに USB メモリー、または CD-ROM から発表会場に設置したノートパソコンに発表ファイルをコピーして下さい。

Macintosh パワーポイントでファイルを作成される方

ご自身のノートパソコンを持参して下さい。発表をスムーズに進行させるために、前発表者が講演をはじめる前に、ノートパソコンをモニターケーブルに接続して下さい。

Windows ノートパソコンを持参される方

発表をスムーズに進行させるために、前発表者が講演を始める前までにノートパソコンをモニターケーブルに接続して下さい。

ファイルをコピーする際、会場系の指示に従って下さい。

USB、CD-ROM からコピーするファイルの容量は 100 MB 以内に抑えて下さい。動画は MPEG フォーマットのみ使用可能です。100 MB 以上のファイルおよび MPEG 以外のフォーマットによる動画を使用される方は、ご自身のノートパソコンを持参して下さい。

会場のノートパソコンにファイルをコピーする際、容易にファイルが見分けられるようにファイル名

を以下の例に従って付けて下さい。

[例] (2-A-13-3)白色腐朽菌を用いたアゾ染料の分解 年会花子、学会太郎（日本水環大院・工）
の発表の場合のファイル名は、“2A133 年会花子”（名前は登壇者名）とする。

4 . 講演ファイルの消去

講演ファイルは発表終了後に年会実行委員会がハードディスク上から消去いたします。

以上